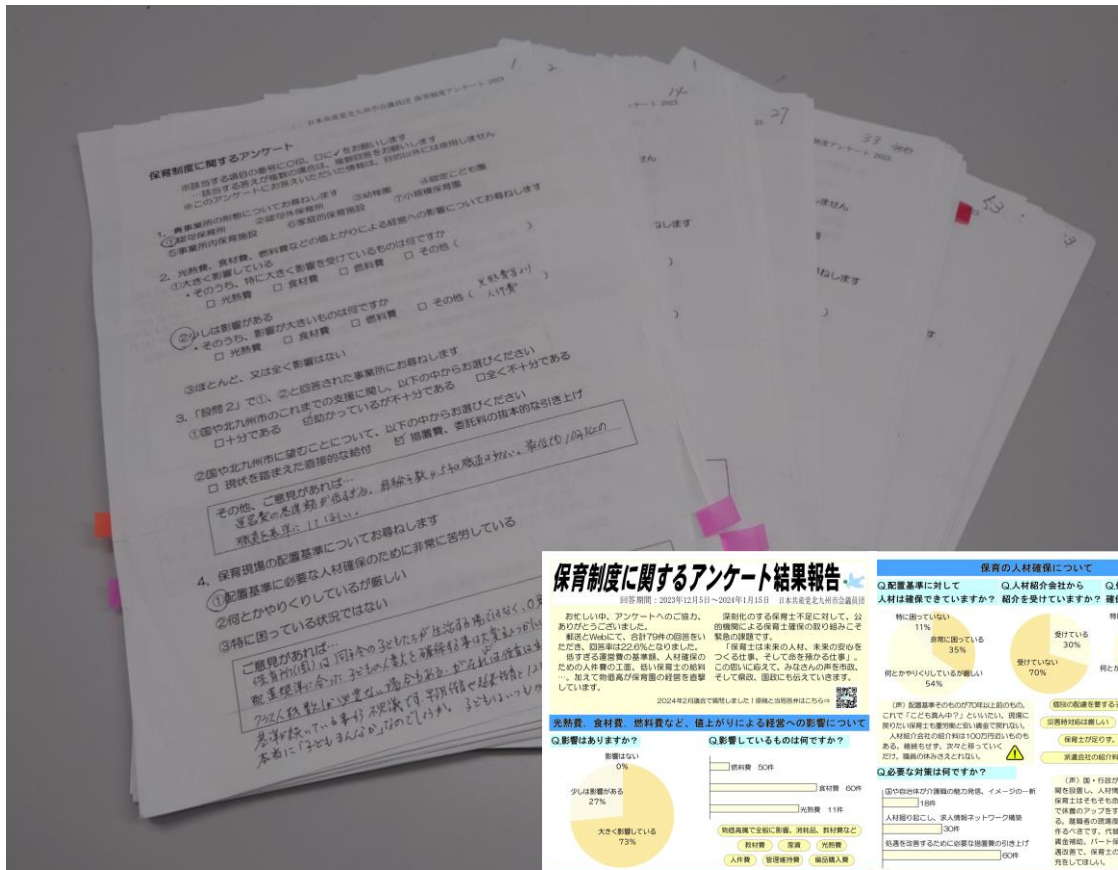


保育制度に関する事業者アンケートの結果（最終報告）



保育制度に関する事業者アンケートの結果 (最終報告)

日本共産党北九州市会議員団

実施期間 2023年12月5日～2024年1月15日(郵送・Web)

集計期間 2023年12月5日～2024年2月29日

配布数 349件 回収件数 **79**件(郵送:61件 Web:18件)

回収率 **22.6**%

保育士として働く市民は「保育は子どもの成長にとって非常に大事。私たちは給食を食べさせる時、喉を詰まらせないか毎日注意を払い、神経をすり減らしている。そんな日常なのに給料が低いまま。学生が保育実習に来ているが、仕事の大変さに比べ、給料の低い実態を肌身で感じ、学校を卒業しても保育士にならない人が7割。とにかく給料上げて保育士を増やして欲しい」と訴えています。

1人で何人もの子どもをみて、安全管理も事務作業もしないといけない、精神的にも肉体的にも過酷な労働の現場にいるのが保育士ですが、みなさん、1人ひとりの子どもに丁寧に寄り添い、少しの変化・少しの成長に大きな喜びを感じ、誇りを持って働かれています。

この度、さらなる現場の声を把握して今後の政策に反映させるため、市内の349の認可保育所、認可外保育所、幼稚園、認定こども園等、すべての保育事業所を対象に、郵送とWebにてアンケート調査を行い、22.6%の事業所からご回答いただきました。ご協力いただきまことにありがとうございました。

集計ができましたので、ご覧ください。

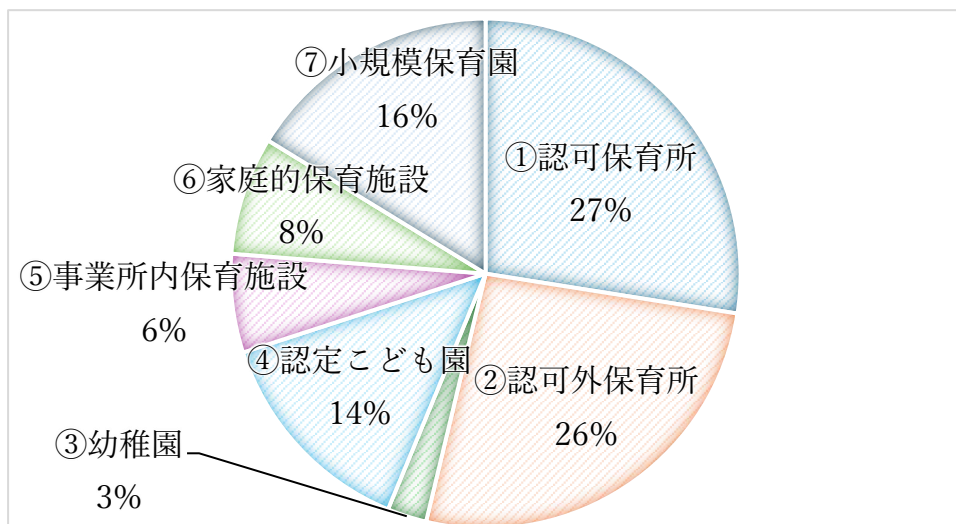
アンケートでは、「安全な基準ではない」「保育士不足のため苦慮している」「現場の保育士からの声をもっと聞いてほしい」など、現場の切実な訴えがありました。

この声をもとに2月の市議会では、保育士の待遇改善などを市に求めました。6月の市議会では、保育士の配置基準について改善を求めます。

保育現場で働くみなさんからの切実な声をもとに引き続き、国や市に改善を求めたいきます。ぜひお気軽に声を聞かせてください。

1. 貴事業所の形態について

- | | | | | | |
|----------|----|------------|----|-----------|---|
| ① 認可保育所 | 22 | ② 認可外保育所 | 21 | ③ 幼稚園 | 2 |
| ④ 認定こども園 | 11 | ⑤ 事業所内保育施設 | 5 | ⑥ 家庭的保育施設 | 6 |
| ⑦ 小規模保育園 | 13 | | | | |

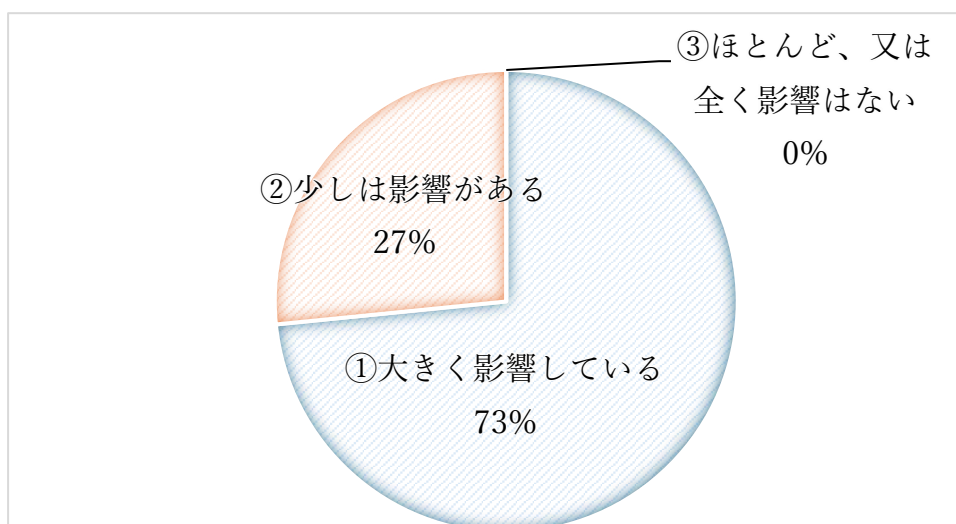


集計の特徴

事業所の形態別では、「認可保育所」22件、「認可外保育所」21件で、この2形態だけで5割を超えました。

2. 光熱費、食材費、燃料費などの値上がりによる経営への影響について

- | | | | |
|------------------|----|------------|----|
| ① 大きく影響している | 58 | ② 少しは影響がある | 21 |
| ③ ほとんど、又は全く影響はない | 0 | | |



集計の特徴

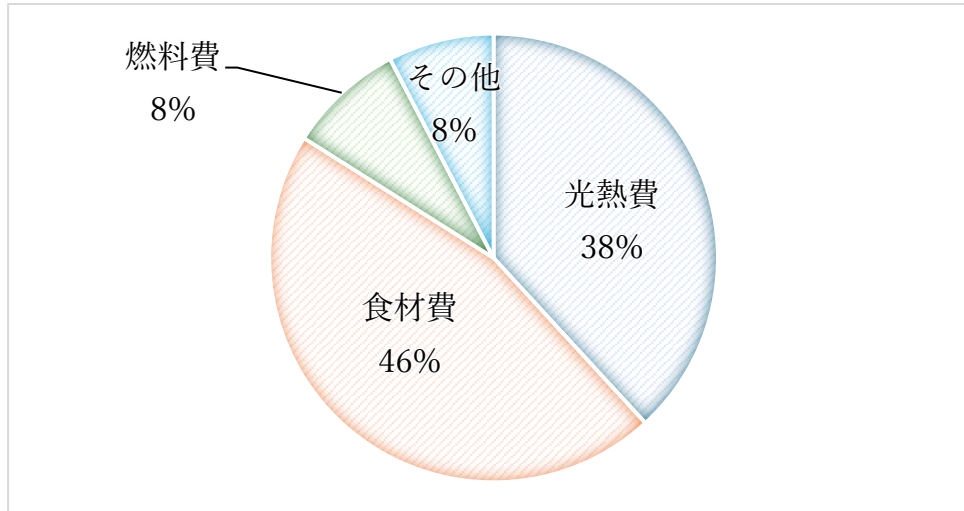
「大きく影響している」と7割以上の事業所が回答しました。「少しは影響がある」の回答と合わせると、全ての事業所に影響が出ている結果となっています。

2-2. 影響が大きいものについて（複数回答）

光熱費 **50** 食材費 **60** 燃料費 **11** その他 **10**

その他内訳

人件費 **3** 備品購入費 **2** 維持管理費 **1** 教材費 **1** 消耗品 **1** 家賃 **1** 玩具 **1**



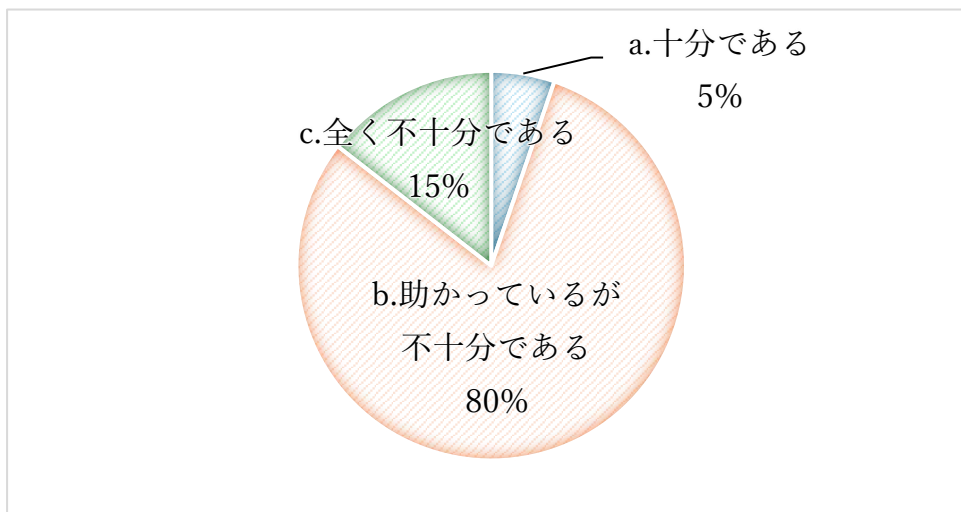
集計の特徴

「食材費」と75%の事業所が回答し、一番多い結果となりました。2番目に多い「光熱費」の回答も6割を超える事業所に影響を及ぼしています。

3. 「設問2」で①と②と回答された事業所へのお尋ね

①国や北九州市のこれまでの支援について

a. 十分である **4** b. 助かっているが不十分である **61**
 c. 全く不十分である **11**



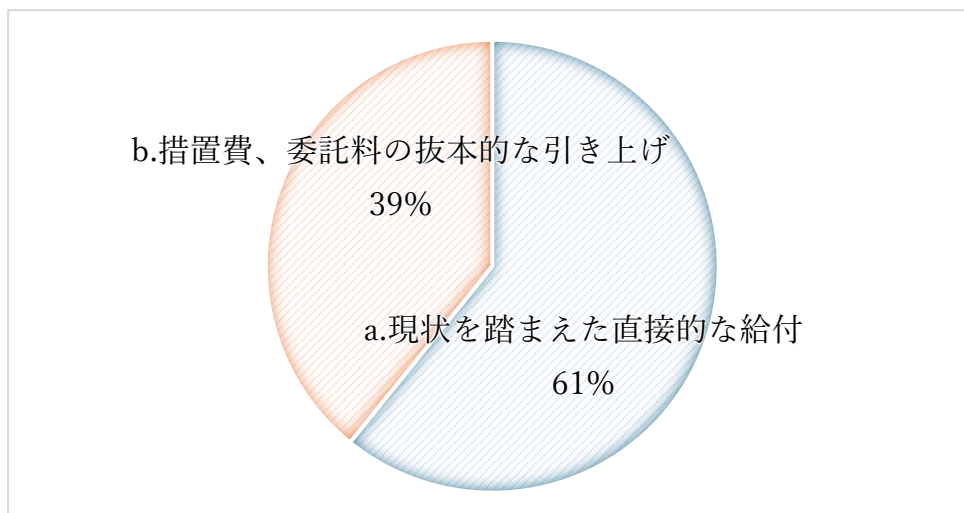
集計の特徴

「助かっているが不十分である」が61件、全体の8割を占める結果となりました。「全く十分である」と合計すると、95%の事業所が不十分であると回答しています。

②国や北九州市に望むこと（複数回答）

a.現状を踏まえた直接的な給付 **45**

b.措置費、委託料の抜本的な引き上げ **29**



集計の特徴

全体の5割を超える（45/79件）事業所が、「現状を踏まえた直接的な給付」を求めています。「措置費、委託料の抜本的な引き上げ」は36%の回答です。

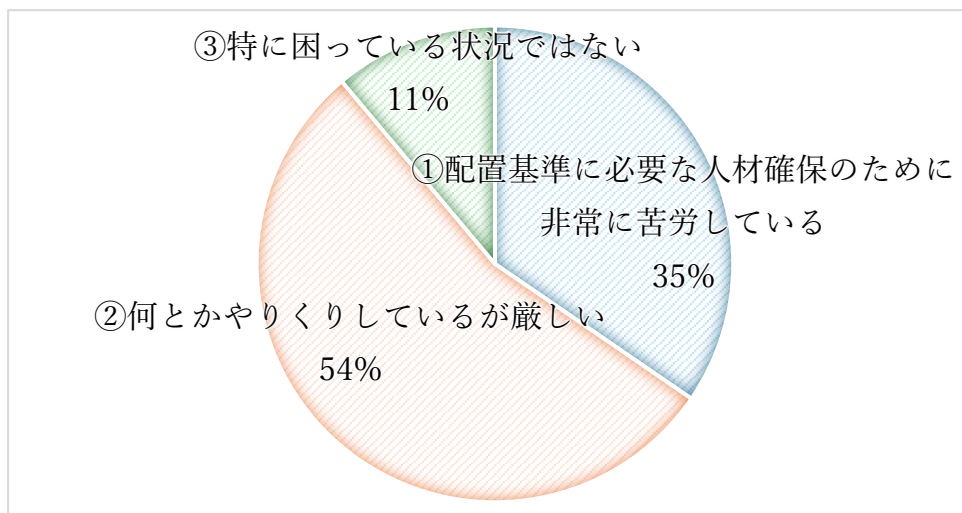
コメント一覧

- ◇利用人数ではなく定員日数に対しての給付費だと助かります。
- ◇家賃、光熱費等、在籍者数に関係なく常にかかる費用までが在籍人数に影響されることが納得できない。保育者も、子どもが減ったり増えたりする度に解雇したり雇ったりできるわけではないので、最低限の保証はしてほしい。
- ◇安全対策費や感染症対策費などの経費がかかったが、給付に制限があり対象じゃなかったのが不公平さを感じる。
- ◇公定価格の地域区分がおかしい。北九州市は3/100地域であるが、宮若市と同じである。これは納得がいかない。保育単価だけの問題でなく、国の出先機関の公務員の地域手当と同じである。失礼な話ではあるが、宮若と同等とは、北九州市が国からその程度にしか見られてないと言う事に他ならない。
- ◇運営費の基準額が低すぎる。経験平均4～5年の職員が少ない。最低でも10年以上の職員を基準にしてほしい。1事務所274万円。
- ◇本来の国制度で設けられている家庭的保育支援加算を公立保育所で人件費として取り上げられている。制度改善を。
- ◇現場を見て、現場の声を聞いてほしい。
- ◇認可外保育所に市から委託料もない。認可保育所に入れなかった子どもを受け入れている認可外にどうして委託料が出ないのか。他の都市では委託料を出している所がたくさんある。

- ◇定員変更の緩和。保育士不足による子ども受け入れができない。努力しているが、新卒の入職がない。60人定員で45人しか受け居れなければ人件費が不足する。
- ◇人材確保にかかる人件費が増え負担となっている。
- ◇保育士になりたい、と思える支援の充実を。
- ◇賃上げによる人件費増が運営に一番影響している。給食費、光熱費、処遇改善手当などの補助金は助かるが、その申請と請求の事務量が多く、また人件費増につながっている。そのため措置費等の抜本的な低き上げを望む。
- ◇何かにつけ無償化といえば聞こえはいいが、本当に必要、望まれているのは、利用料も含めた利用しやすい環境整備と思う。保護者も相応の負担をすることに抵抗はなく、必ずしも無償でなくてもいいのでは。
- ◇光熱費に見合った引上げ。
- ◇光熱費だけでなく冷暖房設備の点検、管理費、維持費にもお金がかかり大変。
- ◇物価は上がり、給料は上がらない。私たちの運営の大本である保育料は上げることはできない。保育園は苦しいばかりです。切実に…。
- ◇そもそも認可外保育施設支援としては、職員の健診補助一人1300円と児童補助一人につき1500円しかありません。その他は全くないのです（コロナ補助はありましたが…）
- ◇法人格や施設形態により、補助金や委託料等の支援が頂ける、頂けないがあり不公平。物価高騰はどの事業所にもものしかかかっている。
- ◇設問1で、②と回答しているが、同じ認可外でも企業主導型は過剰な補助金があるが、本園はゼロ。等しく設置基準を遵守してもゼロ。より良い保育に使用されていないと思えない園もある。物価高騰対策支援日については、本園も支給対象であったが、微々たるもの。申請にかかる労働・人件費がそれを上回ってしまうほどで、苦勞している。

4. 保育現場の配置基準について

- ①配置基準に必要な人材確保のために非常に苦労している **28**
- ②何とかやりくりしているが厳しい **44**
- ③特に困っている状況ではない **9**



集計の特徴

「何とかやりくりしているが厳しい」が44件と一番多く、半数を占める結果となりました。全体の約9割の事業所が人材確保に困っている状況に陥っています。

コメント一覧

◇保育所（園）は、同年齢の子どもたちが生活する場ではなく、0歳から就学前までの子どもの集団です。配置基準に合った子どもの人数を確保することは大変難しい。基準で行けば1クラス分のクラス人材数しか必要ない場合もあるが、それでは保育はできない。70年以上前の配置基準が続いていることすら不思議です。早期保育や延長保育と12時間以上の保育を必要としている子どももいます。本当に「子どもまんなか」なのでしょう。子どもはいつも外にいます。何か変です。

◇上記（2番目の人）のような加算を、零細事業所である家庭的保育から取り上げ、回せない状況がある。お金があれば人を確保する（正規人材で）。

◇配置基準が改善されるのはありがたいが、保育士がいません。

◇配置基準を守りながら運営しているが、保育士不足のため苦慮している。また、人材紹介会社等には保育士が登録しているが、紹介料が高い。保育士の給与改善もしなければ、現場に戻りたい保育士も重労働（子どもの命を守る、保護者対応、書類等）のため、安い賃金ならば、戻ろうとは思わない。

◇認可外は一時預かりが多い。人材は多くいるが、その日によって、お子さんが増えるので、増えた日は苦慮している。

- ◇保育士の待遇悪し。
- ◇保育者一人にかかる負担が大きくなる（休めない、時間にゆとりがなくなる等）。質のよい保育提供のためには、必要な人に充実したサービスが行き届くようにしてほしい。
- ◇認可外は一時預かりが多い。人材は多くいるが、その日によって、お子さんが増えるので、増えた日は苦慮している。
- ◇障害児加配の保育士不足で非常に苦慮しクラス担任保育士さんへの負担が大き過ぎる。
- ◇60人（多くても4歳、15人、5歳15人程度）、40人定員で5歳児30：1→4、5歳児合同保育で、保育1人分の人件費しか計上されない。年齢ごとの保育ができない。
- ◇北九州は1歳児の基準は1：5で、国よりましですが、0、1、2歳児の実際は、保育士を多めに配置しないと無理です。4時間パート、日々代替職員を確保して何とか乗り切っています。
- ◇何が影響しているのか要因はわからないが、個別の配慮を要する子どもがとても多く（特に感情のコントロールが難しい子ども）最低基準で決められた現在の配置基準では、対応が難しく保育者が心身ともに疲れ切って保育している現状である。毎年バーンアウトしていく保育者（保育者として適正はあるのに、意欲を失い辞めていく）に管理職として、子どもの命を守るだけで精一杯で、保育者を守れないことに無念さを感じている。
- ◇0才3人まで1人で保育可能とされているが、実際には難しい。特に災害時、絶対に避難させられない。このため2人は確保するようにしているが、それだと経済的にかなり厳しい。0才～2才の子ども5人を2人で保育するにしても、0才と1才の混合だと、3人いないと危険だと感じる場面が多々ある。
- ◇給料に関しては国が処遇改善を行い、本市においては改善されていると思われる。が、日曜祝日以外また、12時間の開所のため、現場の職員の休みが取れない。労基上は最低限クリアしているが、週休二日には程遠く、今の若い者は給料よりも休みを優先する傾向があるため、退職したりそもそも来ない。施設に余剰で休みを出し、代替職員を入れる余裕は無いため、苦慮している。
- ◇クラスの配置人数は適切であるが、主任保育士が人員配置人数になって事務全般や書類やクラス担当や早出遅出勤務を行っている現状は小規模だからでしょうか？正確な人員配置を理事長だけでなく保育現場にいる職員に明確にしてほしい。一人の負担が大きいとを感じる。保育主任はクラス担当に入れたい配置人数を希望する。園によって様々なので基準をしっかりと決めてほしい。
- ◇なんとか配置基準で運営しているが、そもそも0歳が1対3というのが厳しい。1人で抱っこできる最大が2人なのに。そして加配がつかないけど、大人の援助を必要とする子もいるので、配置基準だけでは回らないところがある。正直この配置基準ではこれから保育士の疲労がどんどん溜まっていき、退職につながっていくと思う。

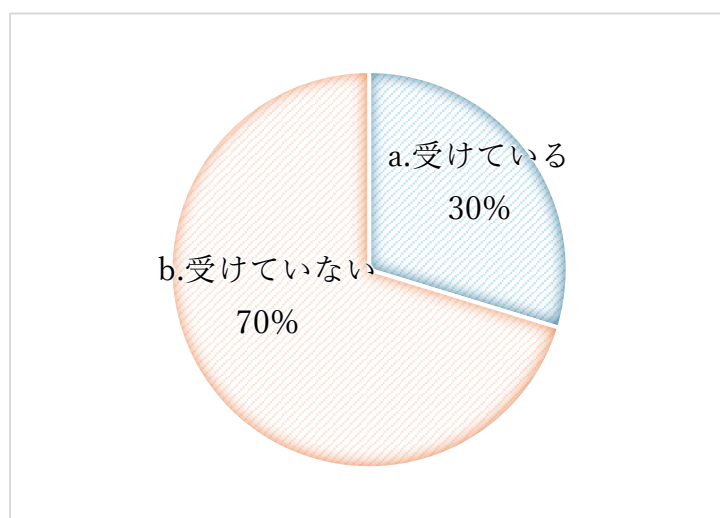
- ◇認可外保育施設この配置基準は厳しい。
- ◇学校数が減少しているため、新卒採用が難しくなっている。金額的な処遇は進んでいるが、休暇の取りやすさや辞任などの職場の働きやすさが重要と思われる。
- ◇保育士がいない現状は当面変わらないので、無資格者も一定の研修を受けて補助員として制度化し、認める制度をつくらないとやっていけない。
- ◇配置基準だけでなく、配慮を要する子どもが多いため、保育士確保に向けた施策が必要だと感じる。
- ◇保育士の労働時間よりも長い保育時間の子どもが多く、配置基準は、満たされているようで現状は厳しい。
- ◇保育時間も長く、そのための人材を確保するのはとても難しい。職員が様々な理由で休む場合も、代替りの人材がなかなか見つからない現状である。
- ◇配置基準も見直し。子どもたちのよりよい教育・保育のためには必然であり、大歓迎。しかし、当座の実務レベルでは職員不足が立ちはだかる。
- ◇配置基準は現場にとって、とても大事であり、今の基準でも時差出勤等で安全な基準ではないと思う。人材は確保できる（仕事内容が少しでも緩和できるのであれば）
- ◇素敵な先生がそろっていたら、子ども、職員の心身の健康が保たれます。園、職員、子、保護者、共通の望み。だが、保育料のみで運営している園では、給与の確保が難しい。一方、有り余る助成金を受給しながら、質の低い（無資格、未経験、倫理観の欠如した）職員等を低賃金で雇い構成する園もある。

5. 保育の人材確保について

①人材紹介会社から紹介を受けていますか

a.受けている **22**

b.受けていない **52**



※人材紹介会社の利用について

人材紹介会社の手数料は、平均単価が年収の約 3~4 割となっており、一人当たり数十万円の費用が発生します。

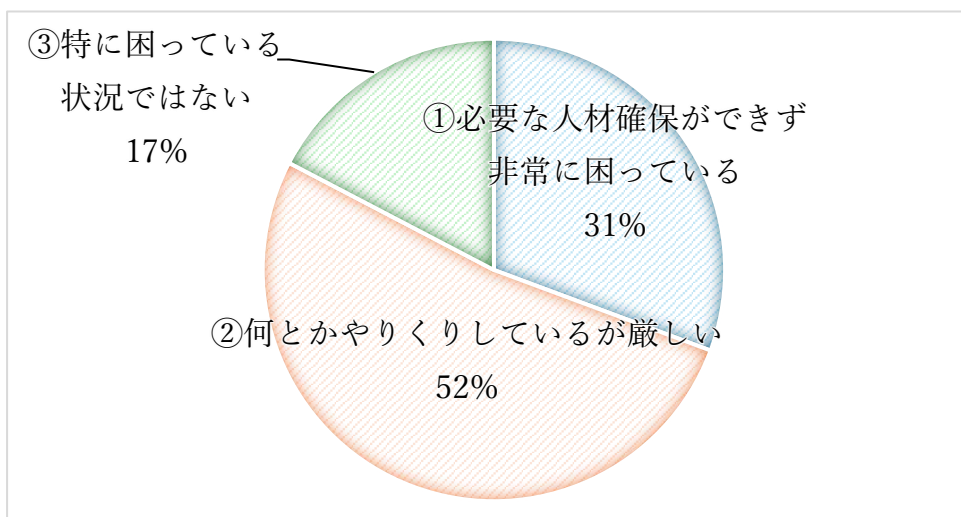
手数料の料率の上限は、人材紹介事業の許認可申請時に厚生労働大臣に届け出ることになっており、50%を上限として自由に設定が可能のため、高額になる事例が多くなっています。

集計の特徴

紹介会社からの紹介を「受けていない」と回答した事業所が7割を占めています。

②保育の人材確保はできていますか

- ①必要な人材確保ができず非常に困っている 23
②何とかやりくりしているが厳しい 39
③特に困っている状況ではない 13



集計の特徴

保育の現場の実情に対する人材の確保は、8割を超える事業所が「非常に困っている」「何とかやりくりしているが厳しい」と回答しています。人材不足は深刻な課題です。

コメント一覧

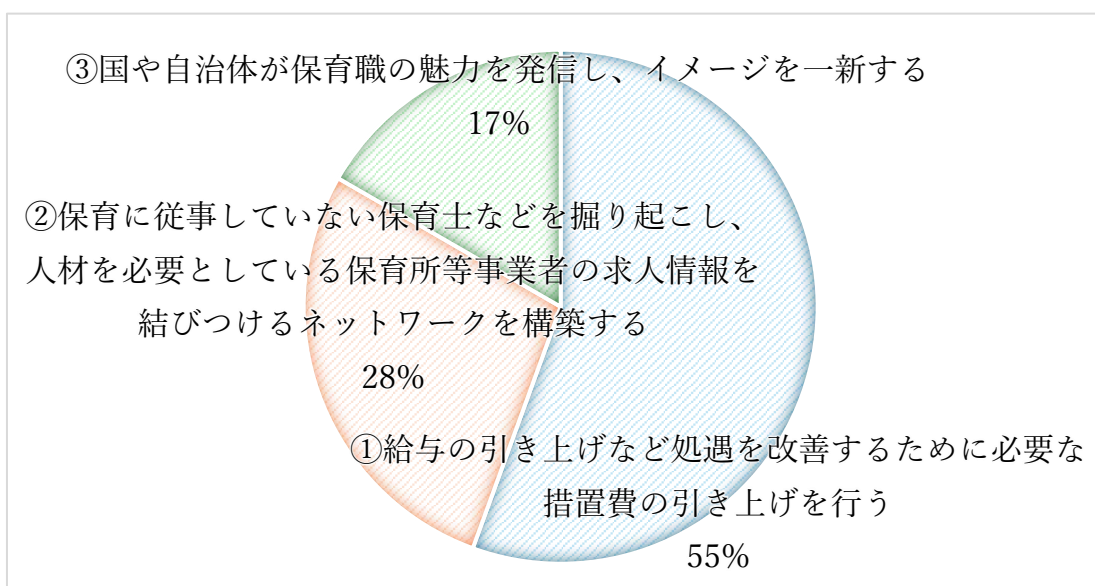
- ◇運営がかなり厳しい状況で廃止も検討している。
- ◇資格を持っている、潜在保育士が離職して戻ってこない。昔と違い、給料も上がっているし、自園努力で働きやすさが改善されている園も沢山あるのだが、なかなか厳しい状況である。本市独自の政策で、潜在保育士の復帰を促す様な政策を行って頂きたい。
- ◇普段は十分たりているが、元々の職員数が少ないため、感染症が流行するとすぐに職員が不足する。いざというときは、連携保育所から手伝いを呼べることになっているが、現実的に考えると(人見知り、園での動きなど)現場は混乱する。手伝いを呼ぶのではなく、連携保育園に直接預けられる(緊急保育のように)システムがほしい。
- ◇派遣会社からの紹介でまともな保育者に出会ったことがない。
- ◇人材会社から、毎日数件の案内(FAX, TEL)が入りますが、まず高額。そのような余裕のある保育園は少ないと思います。なぜ、ハローワークの利用者が少ないのでしょうか。疑問を感じる。ネットもやっていますよ、と言われますがいつもネットを見ているわけではありません。ハローワークの人材情報を保育所に流してもらうことは難しいのでしょうか。何か対策があると思います。何年も申し込んでも1軒もありませんので、申し込みをすることをあきらめました。

- ◇人材紹介会社は高い。信用性がない。
- ◇紹介手数料が高いのと、途中でやめたときの紹介手数料の返金期間の短さと返金の金額が安い。
- ◇どこの人材会社も似た者同士。
- ◇家庭的保育事業のみ、保育士に子育て支援員研修が必須のため、保育士の新たな人材確保が難しいので保育士に限っては免除してほしい。
- ◇年度途中とくに0歳児の募集に支障をきたし。子育て支援が思うように取り組めない。
- ◇会社からの紹介は責任感不足。手数料による人件費不足。
- ◇有料会社になると、採用後に支払う金額が大きすぎる。そこが負担で結局、1名も採用できず面接には来たが終わってしまった。
- ◇人材紹介会社へ支払う紹介料が数十万円かかるため、その一部を補助してもらえると助かりますが…。手数料が高すぎて利用していない。
- ◇人材紹介を受ける金銭的余裕はない。
- ◇紹介料が年収の30%（一人70万円）と異常なため使用する気にならない。
- ◇保育士の確保ができず新入児を受け入れることができない。また、代替も不足していて職員の休みが思うようにとれていない現状がある。
- ◇ハローワークや支援センターに求人を出しているが、反応はありません。人材紹介会社は費用が高すぎて小規模保育園ではなかなかお願いすることができません。
- ◇人材紹介は正規職員で120万円、常勤100万円、日々代替で70万円、初期費用がかかります。それでも継続していただければ良いのですが、次々に移っていく方多く、その都度、大きな費用がかかります。行政が登録、あっせんをする機関を作っていただければ、もっと抑えられるし、保育教材などに回せます。
- ◇当園としては、常勤の保育士2人を6時間制の交代とし、その他は子育て中の保育士や現役のママさんたちに3時間未満の保育士補助として活躍していただくことで、子育てに関する打ち合わせをしながら、ぎいおうむにあたる取り組みをしてまいりましたが、コロナ後の感染対策もむなしく「季節性の風」との診断から、2週間経過しても治らない、咳症状が現在も変わらず継続している状態です。季節性の風・アデノウイルス・インフルエンザ・どのような風症状でも回復してもまた、咳症状だけが残り、繰り返す、というサイクルが続いているため、慢性的な人で不足になっています。
- ◇専門機関を出て、資格を持ち、命を預かる仕事に対する対価を、国全体で上げて保障してほしい。
- ◇人材紹介会社に多額の費用を支払うのは、税金を無駄遣いしている大変心が痛む。しかしそうでもしないと、人材が足りない窮状。それでもその職員が働き続けてくれればまだよいが、入職後、半年ほどで辞められると、泣きっ面に蜂。

- ◇人材紹介会社はとても高く経営上苦しいので、使えない。
- ◇働いている職員やその家族の具合が悪く数日間休む場合なども、人材確保に苦労する。
- ◇良い先生と少人数で保育に取り組んでいる。配置基準を満たし、安心・安全な保育ができるよう、園児の人数を調整している。

6. 保育の人材確保のために必要な対策について（複数回答）

- ①給与の引き上げなど処遇を改善するために必要な措置費の引き上げを行う **60**
- ②保育に従事していない保育士などを掘り起こし、人材を必要としている
保育所等事業者の求人情報を結びつけるネットワークを構築する **30**
- ③国や自治体が保育職の魅力を発信し、イメージを一新する **18**



集計の特徴

「給与の引き上げなど処遇を改善するために必要な措置費の引き上げ」が75%となり、処遇改善等を求める声が多くを占めました。

コメント一覧

◇保育士はただ子どもと遊んでいるわけではない。国家資格を持ち、専門の知識を持って子どもたちの命を預かっている。そして保育所がなければ保護者の方は仕事ができない。純粋に給与水準があがれば自分たちの仕事を理解し、評価してもらえたと保育士のモチベーションも少しはあがるのでは。

◇こどもの命を預かる仕事の量の多さに比例する賃金をお願いしたい。

◇企業主導型保育施設(認可外保育施設)は、認可並みの厳しい設置基準を満たしていますが、北九州市の保育士保育所支援センターの利用を断られています。何故でしょうか。保育士の確保が厳しいのはどこも同じですが、排除されることはないかと思っています。

◇人件費水準が低く、働き方に逆行している労働時間となっている。

◇ネットワークは既に本市では行って頂いている。処遇は十分。復帰にあたり、ドンと出すと戻ってくるかも。

◇社会で育てることは大前提として、子どもが何を望んでいるのか、どうして欲しいと願っているのか、本当に子ども大綱に子どもの意見が反映されているのかは、疑問である。保護者の働き方、企業の子育て家庭に対する理解がもっと深まる事を願う。現状、処遇が改善されたとしても本当に子どものことを考えられる子どものための保育者は 働きたいとは思えない（保育者自身が、傷ついてしまう事が多い）

◇事業所内保育施設には処遇改善手当がありません。認可外保育施設にも手当等があれば、もっと働く意欲が湧くのではないかと思います。

◇運営費の基準を上げれば、何度も処遇改革 1, 2, 3 などを行う必要はないのでは、と思う。そのたびに煩雑な事務をしなければいけない。PCでさっとできるというものでもない。もう一度考えてほしい。

◇子育て支援員を配置していいようにしてほしい。早朝や夕方の子どもの人数が少ない時間だけでも助かります。

◇子どものために、保護者のためにと毎日一生懸命働いている保育士。また、子どもの命を預かっているとなくてはならない職業だと思います。その中、仕事内容との給与を、補助等がっていないと思います。また、認可も認可外も子どもを預かる仕事内容は同じです。認可だから見るのではなく、認可外も同じ目で見たいです。

◇④でも答えていますが、保育士の給与が低く、けれど仕事は重いので、引き上げをすることで現場に戻る保育士が増える。

◇待遇改善

◇近年養成長からの新規採用の応募が少ない。短大等、保育、幼児教育科の受験学生数が激減していると、聞いています。まずは③について養成校への改革が必要と思われます。

◇離職者の保育現場への復帰を後押しできるようなアピール、広告、制度の拡充を望んでいます。

◇病院の看護助手のように無資格者でも定員の割合で、保育士補助員と認めてもらえたら助かります。

◇必要な措置費よりも、人員配置数の見直しが必要と思われる。

◇社会福祉は生産性がないと思われるかもしれないが、未来の人材、未来の安心をつくる仕事。どの職よりも優遇されるべき。保育のマイナスイメージを発信しないで、必要性、大切さ、うれしさを発信してほしい。

◇どれも足りていない。残業がある。女性の職員ばかりで人間関係が難しい。うまくいかない。書類が多く、休日にも仕事をしなければならない。などのイメージが大きい。

◇休暇を取りやすくするよう、代替保育士の賃金補助。パート保育士などの処遇改善。

◇①～③すべて必要だと思います。

◇保育士という仕事はとても魅力があり、やりがいのある仕事だと感じていますが、給与面が低いとなると、魅力はあっても生活が厳しくなるため、保育士が離れていくように感じます。

◇認可外保育施設のための補助金は一切なく、保育料のみの運営となり、十分なお給料を保育士さんに渡すことができない。しかし、大切な子どもたちは認可、認可外に関係なく同じ保育を受ける権利を持っている子どもたちが当園しています。そんな認可外保育園にも補助があるとしたら、保育士さんの給料分だけでもお願いしたいです。

◇保育園でのマイナスなイメージが社会で取り上げられている中、資格職として子どもと触れ合う素敵な仕事として、社会でのイメージづくりに努力してほしい。

◇パート職員で130万円等に制限して働かないといけない場合、時給を上げると時間酢が短かったり日数が減ったりしてしまうので、そのあたりの措置も今後考えてほしい。

◇6-①により、適正な給与を支払うことができれば、職員の数を増やし、定員も増やすことができる。

◇当園におきましては離職される原因として、過去に問題になっていたことは職員間や家族とのコミュニケーションによる人間関係についてのトラブルが大半でした。そのため、長時間業務の義務感から受ける、ストレスや病的こだわりが原因になる虐待や不適切な保育にならないための、当園が推奨している取り組みとして「親と子の関係」も同様ですが、子供と大人の間を構築していく場合に大切にすべき事は実質的に子供に関わる時間を極力3時間未満と意識する事で子育てが義務感的な意識から、もっと子供にかかわりたいと思う気持ちで構成していくことで、職員間や家族とのすり合わせが、とても充実した関係として形成されて行く。このフェロシップの中であれば虐待や不適切な保育を疑われる事なく。大人にとっても、子供にとっても、健全な心の成長と失敗から学ぶ自己抑制が培えるため、業務にストレスを抱える事の無い仕事ができ、職員の定着率が良い、質の高い保育が実現できていたため、今後も、この取り組みを続けていきたいと考える。

7. 保育制度全般についてのご意見やご要望について（自由記載）

◇子どもの数が少なくなった今の時代では、子どもが健全に育つための保育所（園）は大変重要と思う。そしてその中で働く人が健全に仕事ができる制度をもっと充実してほしい。また、保育所への入所児童は保育料が高い未満児を無償化にすべきであると思う。人間の一番大切な根っこの部分、乳幼児を大切にしない国に繁栄はないのでは…。

◇横浜市のように、子育て支援として制度を独自に追加するぐらいにしてほしい。国制度の横取りで、公立の保育人材を困うようなことはしないでほしい。

◇保育の専門職として保育士は必要。ですが子どもの育ちには多くの手が必要です。保育士の配置基準は最低の基準が示されていますが、それにプラスアルファの人の配置は謳われていません。配置できるだけの余力も今の公定価格には含まれていないのが悲しいです。保育援助員のような方が2～3名いるだけでも全体的な保育の質はもう少しよくなると思います。

◇現場の保育士からの声をもっと聞いてほしい。子育てにいくら力を入れても現場の保育士がいなければ、子どもは入所できない。だから待機が増える。子育てにお金をかけるのではなく、保育の現場に目を向けてほしい。給与もそうだが、保護者対応で些細なことでも言われて、心が折れることもある。クレーマーに近い保護者は退園できるようにするなど、保育士の苦勞を分かってほしい。出ないと、保育士は増えないし、学生もそんなところで働きたくない。だから保育士が増えない負のループです。

◇本当に保育を必要としている人が入所ににくい状況をつくっているのでは。（リフレッシュ休暇や誰でも保育）保育所とは別に施設ができればいいと思う。

◇他の分野よりも人件費が安いのが現状なので、対価に見合う人件費が支払えるよう給付金の？引上げを検討してください。

◇子育て日本一を謳っている北九州。保育園、幼稚園だけでなくもう少し認可外に目を向けてほしい。

◇今現在、保育園全体において、障害児はもちろんのこと、グレーゾーンと言われている子どもが増え、保育園では受け入れられないような、特別支援の必要な子どもが入園しているため、現場は大変です。専門性のある施設の設置が急務です。

◇認可外保育園への補助金が低額なこと、また、保育士の社会的身分保障を強く願います。どの場所で保育を受けても、どの場所で働いても同じように保障される差別のない社会をつくってほしい。保育士という仕事がもっと大切にされると働き甲斐がある。

◇他地区に比べ、当市においては日ごろより保育について考えてくださる市議、市長、市職員の方々が多く感謝しています。

◇無償化＝預けなきゃ損、と考える保護者が見受けられ、この先の子どもの育成、心の育ちがたいへん心配。

- ◇定員の少ない保育園に短時間パート保育士の補助をつけてほしい。
- ◇保育制度を一新する。配置基準を変更してもさらに人材不足の加速になる。思い切っ
て、0, 1, 2歳は家庭で保育(愛着形成の大切な時期)。そして誰でも通園制度をして
いく(月10日)。家庭にもおやつや補助金。育休産休をして休んでいる。会社にも補助
など、仕組みを大幅に変えていかなければ、日本の未来が心配。
- ◇食材費をはじめ全体に物価が高騰していて、その上人件費も上がっている(最低賃金が
上がったので大変です)。もう少し、園児一人の公定価格を上げていただけないでしょ
うか。強く要望します。
- ◇人件費不足・人手不足→雇用不足→休日を与えにくい、ローテーションを組みづらい。
子どものことを考えたら、だれでもよいわけではない。保育園は預かる場所ではない。
保育をする所。
- ◇子どもたち、保護者、職員にとって、よりよい保育ができるよう保育士確保。子ども
たちにかかる費用など拡充をお願いします。
- ◇どこの園も保育士不足。それが原因で入所できない児童も多い。だれでもできる仕事
ではない。子どもの命を預かる責任のある仕事。その分、やりがいも大きい。など、「保育
士」の魅力をもっと広めてほしい。
- ◇子育て中の保護者が利用したいときに利用できない現実があり、円としても職員不足
で対応できないのが現状。
- ◇定員変更は条件をつけずに、即変更をおねがいしたい。職員処遇や安心・安全を確保す
るためには、現状に合った定員数でなければならない。
- ◇社会全体で子どもを育てないで、少子化は止まらないと思います。
グレーゾーンの子どもやアレルギーの子供も多く、とても手がかかります。もっとゆっ
たりとした気持ちで保育できるよう、対策をお願いします。
- ◇仕事をしていない保護者でも保育園を利用できるというのは、保育士不足の園にと
っては受け入れられない。もっと家庭保育の大切さを知ってほしいし、知らせるべき。子
育て支援の方向性に疑問あり。議員さんたち、ぜひ保育園で保育を体験してください。
- ◇処遇改善手当を受けていないので、受けられるようにしてほしい。給与を引き上げてほ
しい。
- ◇どこでも認可、認可外と比べられますが、登園している子どもたち、保育を受けている
子どもたちは認可も認可外も関係ありません。区別は差別だと思います。どうか、この
ようなことがないように、同じ目で見えていただきたい。子どもたちのために、という
のであれば。ぜひ、この世の子どもたちのためにお願いします。
- ◇子どもまんなか社会として、だれでも通園制度など、国の少子化対策が進んで行っ
ても、受け皿の確保が追い付いていないと感じる。病児保育の充実はとてもありがたい。

◇認可の幼稚園や保育園には、国や自治体からの補助がありますが、認可外の保育施設にはほとんどありません。少人数で丁寧な保育がしたいと、90年代後半にはじめましたが、そのころとほとんど変わっていません。最近は研修や国や自治体からのレジメなどの印刷物はほとんどデータで送られてきて、園では何百枚も印刷することになるのに、もちろん補助は何もなしです。小さなことですが、それは少しおかしいかなって思っています。

◇国の予算では保育体制強化事業を実施しているが、北九州市では本事業を実施していない。市単費の予算でもうれしいが抜本的な予算を見直し、市の負担が少なく、保育現場の人員を増やせるものにしてほしい。

◇子ども真ん中社会を目指すといいつつも、法人格や施設形態により、補助金等の公的措置に差があったり、業界団体（幼稚園連盟や保育所連盟）に入れる、入れないでも公金の出方が違ったりと、大人の事情で入所している子どもたちの教育保育環境の構築に差があるのはいかがなものか。ここにも経済格差社会の一端がある。

◇給与の引き上げなど処遇改善に必要な措置費の引き上げなどが実現すれば「職員数に合わせた園児数」ではなく、「保育を必要とする児童すべてに対する保育の提供」が可能となる。また、保育料引き下げもかなえば、経済的理由による転園、退園も防ぐことができる。新たに予算を組んで円の補助額を見直し、再配分してほしい。

◇家庭での育児の大切さを知ってもらい、保育園だけに任せきりに市内で行ける家庭向けセミナーなどをつくってほしい。子どもはペットではない。まず家庭でしつけなどをしっかりしていける支援が必要。

◇仕事などに行っていない生活保護など孤立した家庭で0歳から3歳を過ごす第一子、または音読などがすでに終了した姉、兄のような年が離れた家庭環境に新たに生まれてくる子供に0歳から言語野の成長に良い影響を与えるために、家庭内保育や0歳児クラスなどではない、年齢幅のあるミックスなコミュニティにより早く入ることが3歳以降の、聞く力、書く力伝える力がよくなる。心の成長とともに失敗の経験から学ぶコミュニケーション能力を培うことで社会性を伴う協調性を身に着ける大人に成長するために、どのような家庭環境でも0歳から毎日通える、「こども園」が必要と感じている。

◇小規模保育園では2歳児クラスになると保育料の関係で、幼稚園の2歳児クラスへいく子が増える。現状のまま在籍したいが保育料が無料になるからという理由で退所している。毎年そういう状況で、在籍する2歳児クラスの子どもは月齢が低い子ばかりになり、人数も少ない。小規模保育園が0歳児～2歳児になっているがほぼ月齢の低い2歳児と0歳児1歳児になり、現状手がかかる子ばかりになる。第2子以降も保育料を無料にしてほしい。

◇子どもにも保育者にも優しくない制度である。

◇子どもを預かる時間が短ければ、人材確保も難しくなくなります。大人でも 8 時間労働を厳しく言われる時代に子どもは 11 時間預けられている現状を議員のみなさんはどう思われますか？愛着形成を育む乳幼児期の子を持つ家庭には、時短勤務を推奨、企業には補助を出すなど、子ども目線で社会制度を構築できる日本に、いえ、北九州市になることを心から望みます。「北九州市の人は、温っかいね！」と言ってもらえる市民づくりを是非ともして行ってください。

◇保護者が、いかに楽に子育てできるかが優先され、保育者や一番考えられるべき子どもの事が後回しどころかおざなりにされていると感じる。

◇現状での保育制度として、親が仕事を行う事で「家庭内保育が困難である」が大前提となるが、このコロナ禍での感染対策中の 4 年で外とのコミュニケーションが少なくなった子供達に発達の問題が増えている件（元々、少なくはなかったと私は思う）について考えると仕事などに行っていない、生活保護など孤立した家庭で 0 歳から 3 歳を過ごす第一子、又は音読など既に終了した兄貴、姉貴のような年が離れた家庭環境に、新たに生まれてくる子供に、0 歳から言語分野の成長に良い影響を与えるために、家庭内保育や 0 歳児クラスなどではない、年齢幅のある、ミックスなコミュニティに、より早く入る事が 3 歳以降の、聞く力、伝える力がとても良くなる。ただ、身体的実年齢に漠然と合わせ、責任を負わせる事ではなく、心の成長と共に失敗の経験から学ぶ、コミュニケーション能力を培う事で社会性を伴う協調性を身につける大人に成長するために、どのような家庭環境でも 0 歳から毎日通える、より多くの「こども園」が必要だと感じます。